



あんしん道あいち 第17号

全国道路標識・標示業協会 愛知県協会

<http://www.ansinmichiaichi.jp>

TEL (052) 241-4515 / FAX (052) 252-8156 / E-mail [zen-ai@syd.odn.ne.jp]

目次

- 安全な交通環境で交通死亡事故の抑止を…(1)
- 西尾市施工寄付ボランティア報告…(2)
- 平成24年度 愛知県・豊田市総合防災訓練報告…(4)
- 平成24年度 保安器材供給NW地域別訓練報告…(5)
- 子どもを守ろうPJコノハキッズ…(6)
- 交通安全県民運動への参加報告…(8)
- カーブミラー及び路側標識の清掃・点検…(9)
- 平成24年度技術研修会開催報告…(10)
- 平成24年度施工管理講習会開催報告…(11)
- 標識部会技術情報…(12)
- 「安全で快適な自転車利用環境創出
ガイドライン」の概要について…(13)
- 平成25年度通常総会報告…(14)
- 平成25年度事業計画…(15)
- 会員名簿…(16)



西尾市立鶴城小学校にて通学路安全対策施工寄付を行いました

安全な交通環境で交通死亡事故の抑止を

全国道路標識・標示業協会
愛知県協会 会長
前山 達彦

平素は格段のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

交通死亡事故抑止にむけ 全会員で危険箇所調査

愛知県の交通事故による死者数は、昨年10年連続全国ワーストワンになり、今年も5月現在ワースト1位という不名誉な状況が続いています。悲惨な交通事故をなくすため当協会としまして、愛知県内全域の一般国道・県道の危険箇所・老朽化箇所調査を全会員で行いました。具体的には、道路標識・区画線・ガードレールなどの防護柵・カーブミラーの4種目について現地調査を行い、ランク分けをして監督官庁に報告いたしました。こうした調査の結果、安全な交通環境が維持され少しでも事故が抑止されることを願っております。

「子どもを守ろうプロジェクト」 による通学路の安全対策のご提案

昨年連続して全国で発生しました通学路における悲惨な交通事故の発生により、多くの子どもたちが犠牲となりました。全国の調査では通学路の危険箇所が約6万カ所報告され、愛知県内においても4,693カ所が報告さ

れています。全く無防備な子どもたちを交通事故から守るべく、私たちは道路標識や路面標示、防護柵などの交通安全施設の専門工事業者として安全対策のご提案を行ってまいりました。平成18年から毎年実施しています「子どもを守ろうプロジェクト」は全国に大きく拡がり、全国各地域での様々な取り組みのノウハウを蓄積しておりますので、危険箇所ごとの適切な安全対策をご提案しています。また愛知県警察本部が取り組んでおられる「ゾーン30」は大変効果の期待できる対策と存じますので、当協会としてもその普及に努めてまいりたいと思います。

安全安心な街づくりに向けたボランティア

平成25年度も「子どもを守ろうプロジェクト」として防犯少年団「KONOHAキッズ」へのボランティアや通学路の安全施設寄付、「児童生徒等見守りネットワーク」への参加をしてみたいと思います。また南海トラフによる大地震に備え「非常災害時保安器材供給ネットワーク」の出動訓練を重ね、いざという時にお役に立てるよう体制を整えてまいります。さらにカーブミラーや標識の清掃活動を行い、安全安心な街づくりに微力ではございますが寄与してまいりますので、一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

平成24年度「子どもを守ろうプロジェクト」ボランティア活動報告

子どもを守ろうプロジェクト委員長 本多 徹

西尾市立鶴城小学校 通学路安全対策施工寄贈

委員会として2年目のボランティア

「子どもを守ろうプロジェクト」委員会も創設2年目になり、今年も去年同様にボランティアを開催しました。

開催場所は西尾市立鶴城小学校で行いました。西尾市の北側にあるこの学校は、県道につながる歩道のない通学路があり、西尾市も含め児童の安全に対する対策を講じなければならないと悩んでいました。

そこで、県協会地域幹事を通じ、通学路安全対策のボランティアを提案し、この危険な通学路に即した施工を協会の手により施工をしてまいりました。



目録の贈呈

平成24年8月24日に榊原康正西尾市長様あてに今回の施工寄贈の目録を贈呈並びに説明を行ってまいりました。

市長専用応接室にて抹茶をいただきながら、目録の贈呈並びに説明を行いました。我々の活動については高く評価をしていただき、「今後も続けてほしい」というお言葉を頂戴いたしました。

さらに、活動をたたえていただいた感謝状を、西尾市長直々に前山会長に手渡しをしていただきました。



榊原西尾市長より感謝状をいただきました(西尾市長室にて)



西尾市長からいただいた感謝状

鶴城小学校にて贈呈式

施工をしました通学路対策工事の贈呈式を、鶴城小学校校門にて行いました。

当日は、5年生児童をはじめ校長、教頭先生が出席していただき、前山会長の「安全を祈願します」の言葉により、児童代表に手渡しをいたしました。



贈呈式の様子



前山会長から生徒さんへ目録贈呈

また“自分の身は自分で守る”の意味を込めて、児童全員と協会員とで最後に残しておいた“交通安全路面シート”を施工し、贈呈式を終えました。

児童からは「いつも見守ってくれてありがとう」と感謝の言葉を前山会長にいただきました。



生徒さんと合同作業



記念撮影



代表生徒さんからお礼の言葉

通学路安全対策の重要性

通学路の緊急点検ということで、この鶴城小学校のボランティアの後に、国交省から全国に向けて指示が出されました。これは、春から続いた通学路での子供たちの悲惨な事故に対するものです。

我々も当然ながらこの緊急点検には地域幹事を通じて各地域に応援できることをアピールしてまいりました。

通学路の安全確保の重要性を改めて感じる次第で、我々の活動も本当に意義のあることだと感じています。

25年度においても、できる限りのボランティアで子供のみならず交通弱者といわれている人たちを守っていきたくと思っています。協会員各位様のご理解とご協力をお願いいたします。



フェンス取付用啓発サイン

非常災害対策プロジェクト 活動報告

非常災害対策プロジェクト委員長 成田 聡

平成24年度 愛知県・豊田市総合防災訓練参加報告

平成24年9月2日(日)、「白浜公園」をメイン会場にしまして、平成24年度愛知県・豊田市総合防災訓練が行われました。この訓練は「災害に強いまちづくり～自助・共助・公助による地域防災力の向上を目指して～」をテーマに、愛知県警、国土交通省をはじめ、自衛隊など関係機関63団体、地域住民を含め2,000名以上が参加する大規模な防災訓練です。私ども愛知県協会は、倒壊した家屋に住民が立ち入ることによる二次災害を発生させないよう、セーフティコーン・コーンバーで立入禁止措置を行いました。7月に行いました地区別出動訓練の経験を活かし、迅速かつ的確に作業を行えました



挨拶をされる大村愛知県知事



ヘリコプターによる救出訓練



愛知県協会出発式



訓練に参加する当協会のメンバー



愛知県警による救出訓練



消防隊による救出訓練



消防隊による放水訓練



当協会訓練のようす



当協会による立入禁止措置

非常災害対策プロジェクト 活動報告

非常災害対策プロジェクト委員長 成田 聡

保安機材供出ネットワーク 地区別出動訓練報告

愛知県協会のメインボランティアのひとつ「非常災害時保安機材供出ネットワーク」の地区別出動訓練を7月10日～8月3日にかけて、県下6地区で実施いたしました。この訓練は、大規模災害またはそれに準ずる災害が発生した場合に当局より要請を受けましたら、備蓄している保安機材を災害現場に運搬、設置し、二次災害の発生防止に役立てることを目的とし継続的に実施をしております。

東日本大震災後、私どもはこの訓練の重要性を再認識し、万が一の災害時に迅速かつ的確な作業が行えるよう、隊員一人一人の役割を明確化して訓練を行いました。また各所の訓練に際しましては、各建設事務所より防災または維持担当者様のご巡視・ご指導を賜りました。



一宮・海部建設事務所管内での訓練の様子



一宮・海部建設事務所管内での訓練の様子



知多建設事務所管内での訓練の様子



知多建設事務所管内での訓練の様子



尾張建設事務所管内での訓練の様子



尾張建設事務所管内での訓練の様子



豊田加茂建設事務所管内での訓練の様子



東三河・新城設楽建設事務所管内での訓練の様子



知立・西三河建設事務所管内での訓練の様子

平成24年度「子どもを守ろうプロジェクト」ボランティア活動報告

子どもを守ろうプロジェクト委員長 本多 徹

KONOHAキッズへ防犯啓発シート寄贈

防犯少年団KONOHAキッズ

この活動は、交通安全だけではなく「防犯」という面をとらえたボランティアです。

県の鳥であります“コノハズク”をモチーフにした「防犯少年団KONOHAキッズ」は、「自分の身は自分で守る」を合い言葉に、各小学校の児童たちがKONOHAキッズの紫色の制服を着て、学校で防犯に対する啓発を行っている活動です。

愛知県協会は、この防犯少年団の応援団として、毎年「防犯啓発シート」の寄贈を行っております。平成24年度も愛知県下23校に、地域幹事ならびに地域の協会員のご協力で貼付寄贈をすることが出来ました。

最初の贈呈式は名古屋市西区の枇杷島小学校並びに日進市の赤池小学校で行い、その後、各地にて贈呈式、ご挨拶をし、KONOHAキッズのメンバー全員と貼り付け作業を行ってきました。



シートの貼付作業をするKONOHAキッズ

新設だけではなく

この活動も5年目に入り、平成25年も数校実施をしていく計画ですが、新設だけではなくメンテナンスにも目を向けていきたいと思っています。

下校時に児童がこのシートを見て“自分の身は自分で守る”という意識を啓発するものが、白く剥げていては効果が出ないため、初年度に設置したものを点検をしていく計画を考えております。白茶けてしまった状態のものから順次補修し、効果を取り戻したいと思っています。

評判

この啓発シートの評判を聞いて、何校かからお問い合わせをいただきました。内容は、「啓発活動には最適なシートということで施工してほしい」というお問い合わせでした。“やはり子供の安全を思う気持ちは、みなさんいっしょなんだなあ”と、この問い合わせを聞いてうれしく感じました。

施工個所につきましては、愛知県警の指導の下、順次施工を行っております。今後も、予算の許す限り多くの小学校に設置していきたいと思っております。

3M™ 全天候型溶融式路面標示材 All Weather Thermoplastic (AWT)

「雨降りの夜でも見やすいラインを」

多くのドライバーの希望に応えるべく、3Mが生み出したサンドコアエレメント。従来の高屈折ガラスビーズとも全く異なる雨天性能(屈折率2.4)を持ち、夜間雨天時の視認性向上に貢献します。



3M 住友スリーエム株式会社
交通安全システム事業部

〒158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1
<http://www.mmm.co.jp/ref/>

カスタマーコールセンター
製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで
0570-012-123
ナビダイヤル® 市内通話料金でご利用いただけます。
受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝・年末年始は除く)

平成24年度「KONOHAキッズ」防犯啓発シート貼付施工ボランティア 一覧表

管轄警察署名	小学校名	実施日	管轄警察署名	小学校名	実施日	管轄警察署名	小学校名	実施日
千種警察署	名古屋市立上野小学校	10月23日	愛知警察署	日進市立赤池小学校	10月18日	豊田警察署	豊田市立学母小学校	10月23日
東警察署	名古屋市立山吹小学校	10月23日	春日井警察署	春日井市立松山小学校	10月22日	新城警察署	新城市立舟着小学校	10月25日
北警察署	名古屋市立東志賀小学校	10月25日	西枇杷島警察署	清須市立西枇杷島小学校	11月12日	新城警察署	新城市立八名小学校	11月 5日
西警察署	名古屋市立枇杷島小学校	10月19日	蟹江警察署	蟹江町立舟入小学校	10月31日	豊川警察署	豊川市立豊川小学校	10月25日
瑞穂警察署	名古屋市立豊岡小学校	11月 9日	半田警察署	阿久比町立南部小学校	10月22日	蒲郡警察署	蒲郡市立形原小学校	10月24日
中川警察署	名古屋市立荒子小学校	10月22日	東海警察署	大府市立共和西小学校	10月22日	豊橋警察署	豊橋市立磯辺小学校	11月 2日
南警察署	名古屋市立宝小学校	11月27日	知多警察署	知多市立八幡小学校	10月30日	田原警察署	田原市立高松小学校	10月22日
天白警察署	名古屋市立植田南小学校	11月 5日	岡崎警察署	岡崎市立羽根小学校	10月22日			

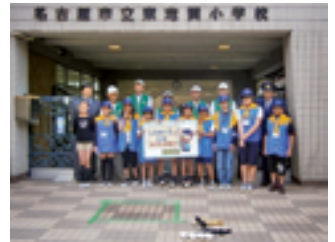
平成24年度
「KONOHAキッズ」防犯啓発
シート貼付施工ボランティア
**実施校での
記念写真**



▲名古屋市立上野小学校



▲名古屋市立山吹小学校



▲名古屋市立東志賀小学校



▲名古屋市立枇杷島小学校



▲名古屋市立豊岡小学校



▲名古屋市立荒子小学校



▲名古屋市立宝小学校



▲名古屋市立植田南小学校



▲日進市立赤池小学校



▲春日井市立松山小学校



▲清須市立西枇杷島小学校



▲蟹江町立舟入小学校



▲阿久比町立南部小学校



▲大府市立共和西小学校



▲知多市立八幡小学校



▲岡崎市立羽根小学校



▲豊田市立学母小学校



▲新城市立舟着小学校



▲新城市立八名小学校



▲豊川市立豊川小学校



▲蒲郡市立形原小学校



▲豊橋市立磯辺小学校



▲田原市立高松小学校

交通安全県民運動への参加報告

交通安全運動事業委員長 村田 肇

交通安全県民運動への参加報告

交通安全県民運動について

交通安全県民運動は愛知県交通安全推進協議会(会長:大村秀章様)が開催する県民ぐるみの社会活動です。年に4回(春、夏、秋、歳末)開催され、交通安全に対する意識付け又、啓蒙活動等があります。特に秋については、各地においてイベントを伴い、交通安全宣言、啓蒙、啓発活動を大きく開催しております。愛知県協会においても、秋の交通安全県民運動ばかりでなく、春、夏、歳末に開催される活動においても、各地域での協会員全員が積極的に参加し、協力すべく協会内に委員会を設置し、様々な取り組みを行っております。



ドライバーへの啓発グッズ配布の様子

秋の交通安全県民運動について

秋の交通安全県民運動において、当協会は

- [1] 各地の交通安全県民運動への協会員全員の参加(中村警察署、豊田警察署、津島警察署管内)、
- [2] 啓発グッズの配布(老人会、幼稚園等)、
- [3] その他ボランティア団体主催の交通安全啓蒙運動への参加を行っております。



豊田警察署管内での街頭活動



津島警察署管内での街頭活動

中村警察署管内の秋の交通安全活動について

中村警察署管内の交通安全県民運動に協会員全員で参加しました。名鉄メンズ館前にて1日警察署長のJurietの皆さんに委嘱式後、皆でパレードをし、その後、タワーズガーデンにてセレモニーを行いました。当協会と地域交通安全の団体で、タワーズガーデンや名古屋駅前交番前付近に場所をを移して、交通安全啓発品を「交通安全の思いを込めて」皆で配布しました。



名古屋駅前パレードの様子

その他交通安全事業委員会について

その他の活動については、愛知県と同じ時期に開催される高速道路安全協議会主催の交通安全活動への参加、(財)東海交通遺児を励ます会へ基金の寄付活動等を行っております。当協会としても交通安全運動委員会を中心に協会員全員で少しでも交通事故を無くすべく活動を積極的に続けていきたいと思っています。



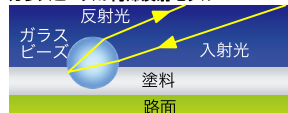
路面標示塗料用ガラスビーズ

路面標示が光って見える夜間の安全走行に欠かせない機能です。

ハッキリと見えるその理由は“光の再帰反射特性”

車の夜間走行において、路面の塗料に埋め込まれたガラスビーズにヘッドライトの光が入ると、その光はドライバーへと効率よく戻っていきます。そのため、路面標示が発光しているかのように鮮明に見えるのです。

ガラスビーズの再帰反射モデル



製品の御案内

- JIS規格ビーズ: JIS規格に適合した信頼性の高い汎用タイプ
 - 高屈折ビーズ: 高屈折率のため、雨天時でも高い再帰反射が得られるタイプ
 - ビジビーズ: 大粒径のため、雨天時でも高い再帰反射が得られるタイプ
 - 反射輝度測定器: 路面標示の夜間視認性を評価するための光学測定器
- ※ JIS規格ビーズは、国内リサイクルガラスを100%使用しています。

車社会にガラスビーズで貢献する

ポッターズ・パロティーニ株式会社

<http://www.pqj.co.jp>
E-Mail: info@pqj.co.jp

本社: 茨城県つくば市下河原崎 254-36
TEL: 029-847-7483 FAX: 029-847-0216

営業グループ: 大阪府大阪市北区末広町3-21
TEL: 06-4709-7381 FAX: 06-4709-7382

カーブミラー及び路側標識の清掃・点検

交通安全対策事業委員長 赤松 平啓

「安全施設の保全」と「安全意識の高揚」

交通安全対策事業委員会の目的

当委員会は、交通安全対策の提案や調査研究及び交通安全施設の保全ボランティア等を通じて交通事故の抑止、会員各社の交通安全意識の向上を図ることを目的として活動しています。具体的活動として、愛知県下9建設事務所管内のカーブミラー及び路側標識の清掃点検ボランティアを実施しています。

平成24年度ボランティア実施報告書

本年度も10月2日～4日の3日間、県下9建設事務所管内で会員58名によりカーブミラー及び路側標識の清掃・点検ボランティアを実施しました。2日は一宮、海部、西三河、新城設楽建設事務所の4事務所管内、3日は尾張、知立、豊田加茂、東三河建設事務所の4建設事務所管内、4日は知多建設事務所管内で実施し、各建設事務所担当者様と事前協議を行い、ご希望や指定路線を伺いながら進めました。当日は、担当幹事を中心として安全ミーティングを実施し、3、4名1組となり安全第一で作業を行いました。

見えやすくなったカーブミラー及び路側標識

山間部においては、カーブミラーや路側標識が樹木の枝で遮られていたり、鏡面や標識板にコケなどが付着して見えにくくなり安全に支障を生じるものがありました。それらを見えやすい状態にし、安全な視界を確保することによりカーブ地点での事故防止に少しでも役立てればという思いで作業を行いました。また、同時に支柱や取付金具の状態を点検し、倒壊や落下事故の危険性を除去、軽減を図りました。

ボランティア活動を終えて

交通安全施設が十分に機能する状態で保全されることは、交通事故防止に欠かせない条件であると考えます。しかし過酷な自然条件の中においては、行政側の努力だけでは追い付かないところもあります。そのような部分を我々利用者が自らの手でお手伝いすることで「安全施設の保全」と「安全意識の高揚」が得られるということは、とても意義深いことです。会員50社それぞれが安全意識の高揚を図りつつ今回のボランティア活動を無事終えることができ、参加頂いた会員各社の皆さまへ感謝申し上げるとともに、この意義深い活動をさらに高いものにしていけるように今後も努力してまいります。



カーブミラーの清掃のようす



カーブミラーの清掃のようす



標識清掃のようす



路側標識清掃のようす

SANYO

人と人、人と街

私たち三陽商会は、交通機材を通して「結びつく」をお手伝いします。



取り扱い製品

路側柱・カーブミラー柱・大型案内標識・信号柱
各種金具・防音パネル・遮音壁支柱・鋼管杭
エポキシ樹脂塗装鉄筋・セキュリティー製品



三陽商会

本社 東京都中央区日本橋1-13-1 日鐵日本橋ビル4F TEL (03) 3281-2212 FAX (03) 3281-6632
交通機材部 愛知県海部郡飛島村梅之郷東割149 TEL (0567) 57-0160 FAX (0567) 57-0161
U R L <http://www.sanyoshokai.co.jp>

平成24年度 技術研修会開催報告

開催報告

平成24年9月21日(金)、名古屋市内の会場にて、第6回技術研修会を開催致しました。官公庁からは愛知県建設部様から28名を始め、名古屋市様5名、他市町で担当者様44名の方々の御出席を賜り、当協会員、賛助会員79名と併せ、総勢156名にて交通安全施設の専門技術について研修を行いました。

研修会の様子



ボランティアの紹介

当協会のメインボランティアである「子供を守ろうプロジェクト」の活動について、昨年に引き続き今年度の事業を御紹介させて頂きました。又、非常災害時保安機材供給ネットワーク及び防災訓練についての報告も併せて紹介させて頂きました。

研修会場の様子



専門部会によるプレゼンテーション

当協会には、標識、標示、防護柵・フェンス、遮音壁、安全施設の五つの専門部会があり、それぞれの部会がテーマに沿った形で新技術の紹介や提案、今後の課題などについてパワーポイントを交えながらプレゼンテーションを行いました。質疑応答には、多くの質問が寄せられ皆様の関心の高さが感じられました。各部会からの研修テーマは下記のとおりです。



公益活動に関するプレゼンテーション

各部会からの研修テーマ	
標識部会	・道路標識取替基準書及び防災標識について
標示部会	・通学路及び歩行者の安全対策について
防護柵・フェンス部会	・通学路の防護柵整備について ・老朽化防護柵の取替工法について
安全施設部会	・車線分離標の種類と設置例について

今後の方針について

私たち愛知県協会は専門工事業の団体として、専門技術の研究・開発・提案を通して社会に貢献することを目的としております。交通事故抑止を始めとする安心安全な街づくりへの努力を今後も継続して行なってまいります。おかげさまで当研修会も回を重ねる毎に参加人数が増えております。これも一重に各官庁様の深いご理解と交通環境整備に対する関心の大きさと受け止め、今後益々の会の充実を図ってまいります。

平成24年度 愛知県建設部 施工管理講習会開催報告

研修委員長 舟橋 浩司

平成24年度 愛知県建設部 施工管理講習会開催報告

上質な施工管理をめざして

平成24年7月24日、ウィンクあいちにて、愛知県建設部企画課より渡邊主任主査様、原主任様、鬼頭主任専門員様、また不動産課から澤田主事様を講師にお招きして施工管理講習会を開催致しました。参加人数は、当協会各社の実務者55名。講習内容は以下のとおりでした。



受講の様子

施工管理講習会の内容

- ① 公共工事における社会保険未加入対策の推進について
- ② 土木工事標準仕様書の改正について
- ③ 工事成績評定の改定について

受講した会員一同、今回の講習内容をしっかりと理解し、今後の上質な施工管理に役立てて参りたいと思います。



講師の皆様



講師:愛知県建設部企画課・鬼頭主任専門員様



前山会長の挨拶



三永商事株式会社

本社 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦二丁目15番20号 三永伏見ビル9F
TEL:052-232-5808 FAX:052-232-5838

営業所 ▶ 札幌 盛岡 仙台 東京 新潟 金沢 名古屋 大阪 広島 福岡

創業 ▶ 1976年(昭和51年) 資本金 ▶ 8,000万円

取扱商品 ▶ 道路資材等全般 事業内容 ▶ 道路資材の卸売

三永商事株式会社は創業以来、道路交通環境の整備と業界の発展のため、お客様と仕入先様との信頼関係を基礎に、多くの方々を支えられて全国に10ヶ所の営業所を有することが出来ました。標識・標示・安全用品・防護柵等様々な商品、流通の分野におきまして、お客様のご要望を満たす機能を強化するとともに、時代を先取りした事業展開により業界の発展に貢献して参ります。今後も社員一丸となり頑張って参りますので、何卒、ご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

標識部会 技術情報

● 道路標識の取替え基準書について

「道路標識の取替え基準書」を作成いたしました。写真を数多く盛り込んだわかりやすい基準書となっております。

全体を「単柱式・複柱式」、「大型標識」、「地点名標識」に分類し、全10ページにわたり、写真と共に取り替え緊急度をランク1～3で紹介。また、ポイントごとに「LOOK!! ワンポイント」のコーナーを設け、反射の種類と特性や、地際腐食の促進要因、地際部の腐食の肉厚測定例など、技術的に役立つ情報も掲載。大変わかりやすい構成となっております。平成24年度は技術研修会を始め、多くの場所でご紹介をさせていただきました。

現在、全国道路標識・標示業協会 愛知県協会のホームページからもご覧いただけるようになっております（平成24年9月24日更新の「各種出版物」ページの下の方のくその他の資料）。まだ見ていないという方は、ぜひご覧になってみてください。



▲「道路標識の取替え基準書」

● 老朽化した安全施設及び危険箇所調査について

本年度も4月、5月の仕事の少ない時期に、協会員で老朽化した安全施設及び危険箇所の調査・点検を実施しました。標識管理システムの老朽化の激しい不良標識一覧表のうち、県下1,376本の老朽化した標識を点検実施いたしました。

特に今年は、平成25年2月に国土交通省道路局より各自治体に対して「道路ストックの総点検」の指示が出され、老朽化したインフラの一斉点検とも重なり、時間をかけて全路線の調査を実施いたしました。

● 登録標識・路面標示基幹技能者 誕生

国土交通省は平成24年10月29日付けで、建設業法施行規則に基づく登録基幹技能者講習に「登録標識・路面標示基幹技能者講習」を登録をしました。これを受けて、全国道路標識・標示業協会は平成24年12月3日～8日にかけて第1回登録・路面標示基幹技能者講習・試験を開催し、全国で標識が93名、路面標示93名が合格しました。

中部支部管内では標識25名、路面標示25名が合格し、専門工種のマネジメント能力に優れた「スーパー職長」も誕生しました。



「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の概要について

標示部会長 長坂 武久

「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の概要について

ガイドラインについて

昨今、自転車は身近な交通手段として、また健康や環境への意識の高まり等を背景に利用ニーズが高まっていますが、交通事故全体に占める自転車関連事故の割合は拡大傾向にあり、深刻な社会問題となりつつあります。このような現状に対し国土交通省は警察庁と連携し、平成24年11月29日各地域において、道路管理者や都道府県警察が自転車ネットワーク計画や整備の徹底を進めるためのガイドラインを策定しました。

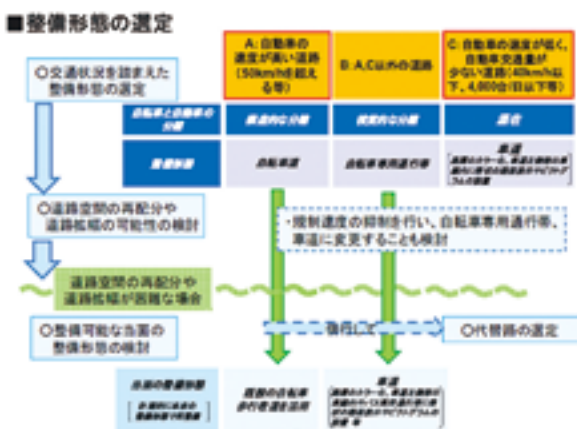
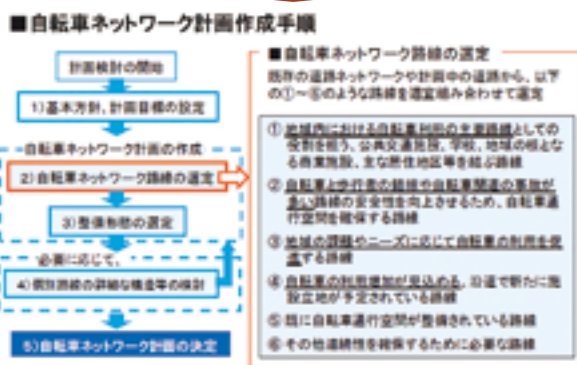
ガイドラインのポイント

ガイドラインは大きく分けて、以下の4つのポイントにより形成されています。

- 自転車通行空間の計画
- 自転車通行空間の設計
- 利用ルールの徹底
- 自転車利用の総合的な取組

このポイントの中で上段2つの「自転車通行空間の計画」「自転車通行空間の設計」については、我々専門業者としての技術提案を積極的に行っていきたいと考えております。計画や設計に関するフロー図は次の通りです。

自転車通行空間の〈計画〉



自転車通行空間の〈設計〉



積極的な技術提案

これらの整備を進める上で、自転車通行空間においては路面のカラー化やピクトグラム等の標識や路面標示の設置また車線分離標の活用など我々の得意とする対策が必要とされており、そこで、今後はそれぞれの整備環境に即した有効的な技術提案を積極的に行ってまいります。

平成25年度通常総会開催報告

総務委員長 野村 義彦

平成25年度通常総会開催報告

▶ 地道な公益活動を通じ社会から信頼される協会づくり

平成25年5月14日、全国道路標識・標示業協会中部支部 愛知県協会通常総会がサイプレスガーデンホテルにて開催されました。前山会長からは、愛知県交通事故死者数ワーストワンに対して「返上することを第一目標として努力したい」と強調。また交通事故危険個所の調査、点検、安全提案をはじめ各種施策を行うことを説明、「会員が一致団結して地域社会に貢献していきたい」と呼びかけた。また当協会から全国へ発信した「子どもを守ろうプロジェクト」を通じて「子どもを守ろう」の観点から通学路整備事業に多くの関心が集まりました、これも地道な公益活動が実を結んだともいえます。今後、信頼される専門業者としてより一層の研究、努力を行っていききたいとの挨拶がありました。

▶ 出席社数

本総会は会員総数48社のうち41社の出席(委任状7社)をもって成立いたしました。

▶ 議事内容

- 第1号議案 平成24年度事業報告の承認を求める件
- 第2号議案 平成24年度収支決算報告の承認を求める件
- 第3号議案 役員任期满了につき、選任を求める件
- 第4号議案 平成25年度事業計画案の承認を求める件
- 第5号議案 平成25年度予算案の承認を求める件
- 第6号議案 一般社団法人を設立することの承認を求める件

▶ 総会におきましては、ご来賓の方々より議案審議に先立ちご臨席を頂き、ご祝辞を賜りました



■ご来賓…愛知県警察本部	交通部交通規制課	課長	本田 俊彦 様
		係長	川瀬 俊二 様
■ご来賓…愛知県 建設部	道路維持課	主幹	牧野 繁保 様
		査査	飯島 直 様
■ご来賓…愛知県議会議員	(当協会顧問)		寺西 睦 様

平成25年度事業計画

総務委員長 野村 義彦

平成25年度事業計画

昨年の愛知県の交通情勢は、残念ながら235人も多くの命が失われ、10年連続交通事故死亡者数全国ワースト1位となりました。また、通学路において登校途中の児童の列に車が突っ込むという悲惨な事故が全国で多発しました。この通学路の事故対策として全国一斉に安全点検が行われた際には、約6万カ所もの危険箇所が指摘され、愛知県においても4,693カ所が報告されています。本年は子どもたちの安全を守るために、「子どもを守ろうプロジェクト」で培ったノウハウを生かしカラー標示や防護柵等の安全提案を積極的に推進してまいります。

昨年の兵庫県における「子どもを守ろうプロジェクト」第4回全国交流会では、北は秋田県、南は鹿児島県と正に全国規模での参加がありました。愛知県から呼びかけた犯罪や交通事故、災害から子どもを守る運動が、名実ともに全国に大きく広がってきています。本年も防犯少年団「KONOHAキッズ」への支援を継続するとともに、愛知県「児童生徒等見守りネットワーク」へ参加し、未来を担う子供たちの安全確保に寄与してまいります。

災害対策としまして、当地において予想される南海トラフ巨大地震に備えて本年度も「非常災害時保安機材供給ネットワーク」の体制を整え、地域防災訓練を実施します。また稲沢市で開催される愛知県総合防災訓練にも参加してまいりたいと存じます。

また一層の社会貢献を目的に、本年は一般社団法人の設立を準備してまいりたいと存じます。

●●● 社会に貢献する協会として主に以下の活動を展開してまいります ●●●

1 交通安全の推進に貢献

交通安全施設の専門工事業者団体として、平成25年度も引き続き安全技術の研究普及・危険箇所の調査・交通事故低減への提案など総力で行うと共に、交通安全県民運動に積極的に参加し県下の交通安全の推進に貢献してまいります。

2 「子どもを守ろうプロジェクト」の事業継続実施

- 1) 各自治体への子どもを守る安全施設の普及をめざしPR活動を行ないます。
- 2) 愛知県警察本部が設置した防犯少年団「KONOHAキッズ」への協力を行い、子どもたちの防犯活動を支援します。
- 3) 市町村モデル校へカラー標示等の通学路安全施設を設置するボランティアを実施します。
- 4) 全国各都道府県協会と連携し「子どもを守ろうプロジェクト」の全国展開を推進します。
- 5) 愛知県教育委員会の「児童生徒等見守りネットワーク」に参加し、児童生徒の安全確保に協力します。

3 非常災害時の体制整備

- 1) 「非常災害時保安機材供給ネットワーク」の地区別出動班による地域ごとの訓練を実施し、非常災害時の出動に備え体制を整えます。
- 2) 愛知県総合防災訓練へ参加し、関係機関とともに地域防災に貢献します。
- 3) 愛知県建設部の備蓄する災害用保安機材の被災場所への設置協力を致します。
- 4) 緊急輸送道路の整備への提案、協力を行ないます。

4 その他の公益活動の継続実施

平成8年から実施してきた交通安全対策事業や交通遺児基金事業などの継続実施(18年目)を致します。

全国道路標識・標示業協会 中部支部 愛知県協会 会員名簿

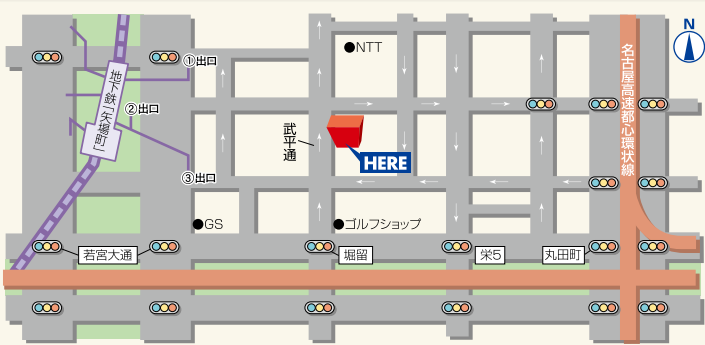
正 会 員	電 話 番 号
株 アサヒカッター	(052)793-2043
アトムテクノス(株)名古屋営業所	(0586)24-5706
株 イセヤス 建 材	(0532)33-3303
株 イワ フ ジ	(0565)43-3555
株 オ カ ム ラ	(0567)65-6050
小 田 鐵 網 (株)	(052)351-5181
株 キ ク テ ッ ク	(052)611-0680
株 京 伸	(0565)33-2141
株 金 原	(0532)31-4969
交通企画(株)名古屋営業所	(052)232-5830
サ ン ダ イ 技 建 (株)	(0568)43-3221
山 和 フ エ ン ス (株)	(052)832-5411
順 天 工 業 (株)	(0565)48-4851
信号器材(株)名古屋営業所	(052)832-2571
ス ロ ー プ ガ ー ド (株)	(0564)28-0661
株ダイエーディスプレイ	(052)411-3811
株 大 恵	(0567)65-3555
大 電 土 木 (株)	(0565)53-3883
中 日 保 安 設 備 (株)	(0587)95-1284
中 部 道 路 (株)	(052)772-6131
中 部 レ ー ン 工 業 (株)	(052)461-3464
寺 部 安 全 施 設 (株)	(0563)57-1800
東 愛 工 業 (株)	(0565)53-2072
株 東 亜 製 作 所	(052)891-1711
東 亜 ラ イ ン (株)	(052)624-5071
東 京 戸 張 (株)	(0533)68-7151
東 邦 ス テ ン レ ス 工 業 (株)	(0562)33-1676
東 祐 工 業 (株)	(0565)27-6885
東 陽 工 業 (有)	(0565)26-9111
東 陽 テ ッ ク (株)	(052)651-4531
豊 田 (株)	(052)935-5561
西 尾 ラ イ ン (株)	(0563)54-3481
日 道 工 業 (株)	(0569)48-1456

正 会 員	電 話 番 号
株 日 本 道 路 シ ス テ ム	(0564)26-3381
日本ハイウェイ・サービス(株)名古屋支店	(052)733-1575
日本ライナー(株)中部支店	(0586)71-4155
日本リーテック(株)中部支店	(052)446-1437
阪神装路(株)名古屋支店	(0586)77-1084
富国合成塗料(株)豊橋営業所	(0532)31-6230
藤 安 全 施 設 (株)	(0567)95-8038
不 動 フ エ ン ス 工 業 (株)	(052)852-9970
株 前 山	(052)841-9250
株 み どり 安 全 社	(0564)48-2888
美 松 工 業 (株)	(0569)29-2751
名 東 電 気 工 事 (株)	(052)763-2141
名 阪 興 業 (株)	(0566)82-8818
株メタルテクノ神戸	(0532)31-6700
森 工 業 (有)	(0565)44-0255

賛 助 会 員	電 話 番 号
株 吾 妻 商 会 名 古 屋 支 店	(052)745-7407
グ リ ッ ク ス 愛 知 (株)	(0532)52-4577
株興和工業所土木建材事業部	(0569)29-3041
三 永 商 事 (株)	(052)232-5800
株三陽商会交通機材部	(0567)57-0160
篠 田 (株)	(058)245-5181
株篠田商会名古屋支店	(0568)34-0215
神鋼建材工業(株)名古屋支店	(052)205-9600
住 友 ス リ ー エ ム (株)	(06)6447-4805
積 水 樹 脂 (株) 中 部 支 店	(052)961-1571
セフテック(株)名古屋支店	(052)902-2711
日鐵住金建材(株)名古屋支店	(052)564-7228
JFE建材(株)名古屋支店	(052)204-5707
JFE建材フェンス(株)名古屋支店	(052)201-3400

周辺地図

地下鉄矢場町③番出口が便利です。



全国道路標識・標示業協会
中部支部 愛知県協会

■お問合せ先

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目19番31号
T&Mビル2階

TEL (052) 241-4515

FAX (052) 252-8156

E-mail zen-ai@syd.odn.ne.jp

<http://www.ansinmichiaichi.jp>